

若者の地方体験交流 募集概要

(費用負担等の詳細は下記問い合わせ先に確認ください)

- 37 : ^{たかおかし}富山県高岡市 (人口: 174,958人)

(1) 最寄りの交通機関と所要時間

あいの風とやま鉄道(高岡駅=福岡駅)10分

高岡市公営バス・五位山線(福岡駅前=山ぼうし前)50分 ロッジ・やまぼうし

(2) 事業実施の目的等

「菅笠」は日本の伝統を物語る道具のひとつ。越中福岡の菅笠製作技術は、平成21年に国の重要無形民俗文化財に指定されたが、現状はスゲ栽培農家の高齢化が進み、スゲ田の減少が著しいため、ボランティアの活動支援や後継者育成を図り、菅笠づくりの技の継承と振興を目的に日本の菅笠を次世代につなぐ活動を進めている。

(3) 体験の内容

スゲ田(学校田や試験田など)の栽培体験、菅笠づくり体験、地元との交流など

(4) 受入団体

越中福岡の菅笠製作技術保存会
越中福岡スゲ生産組合
スゲ支援グループSUGET

(5) 受入期間

5~10月 スゲ栽培
5月中下旬・6月初旬 芽欠き
7月下旬~8月始め 刈取、天日干し
9~10月 苗取り
10月初旬 田植え
冬場 菅笠づくり

(6) 応募上の注意

費用負担	・現地までの交通費:自己負担 ・宿泊費:自己負担 ・食事代:自己負担
要件	菅笠づくり(スゲ栽培、笠骨づくり、笠縫い)に興味のある方 楽しみながら菅笠づくりを身につけたい方
応募締切り	随時、電話、Eメール等で申し込みください。
宿泊施設	公共宿泊施設、民泊など
食事形態	自己負担
その他	農作業服、汗ふき、長靴持参

(7) 地域担当者から一言

時代劇や伝統の祭り・踊りなどで使われている菅笠。古代8世紀には生業として生産されていた。15世紀には菅笠座ができている。菅笠は天皇即位式や伊勢神宮の式年遷宮に使う神宝の1つ。まずは伝統の技「菅笠づくり」にふれてみませんか。

(8) お問い合わせ

自治体・担当部署名: 高岡市福岡総合行政センター 地域振興課

(ふりがな) たちばな みわこ TEL (0766) 64-1423 (直通)

担当者氏名 橘 美和子 FAX (0766) 64-5344

応募宛〒939-0132 富山県高岡市福岡町大滝12 0766-64-1423 Fax0766-64-5344

Eメール f-chiki@city.takaoka.lg.jp